

安全データシート (SDS)

作成日 2024年2月27日

1. 製品名及び会社情報

製品名 Value3D MagiX PLA Neo filament
製品コード PLA Neo
会社名 武藤工業株式会社
住所 東京都世田谷区池尻 3-1-3
電話番号 03-6758-7123
推奨用途及び使用上の制限 3Dプリンター用フィラメント

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 自然発火性固体 区分外
健康有害性 皮膚腐食性及び刺激性 区分外
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分 2B
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示 GHSに基づく絵表示なし
注意喚起語 警告
危険有害性情報 眼刺激
注意書き

安全対策 取扱い後はよく手を洗うこと。
適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
応急措置 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。
保管 換気の良い冷所で保管すること。
廃棄 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

物質／製剤：製剤			
化学名	濃度または濃度範囲	CAS 番号	EC 番号
ポリ乳酸 (PLA)	≥98%-100%	9051-89-2	618-575-7

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤	小火災：粉末消火剤、二酸化炭素、散水。 大火災：散水、水噴霧、一般の泡消火剤。
特有の危険有害性	可燃性物質：燃えるが、容易に発火しない。 接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	空気式呼吸器(SCBA)を着用する。 防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外は近づけない。 風上に留まる。 低地から離れる。 作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。 環境中に放出してはならない。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
封じ込め及び浄化の方法・機材	漏洩物を集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 危険でなければ漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 排気用の換気を行うこと。 皮膚との接触を避けること。 眼との接触を避けること。 粉塵、ヒュームの吸入を避けること。
接触回避 衛生対策	『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

保管場所には化学品を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設定を設ける。
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。
酸化剤から離して保管する。
冷所、換気の良い場所で保管すること。
容器を密閉して保管すること。

安全な容器包装材料

包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	
		日本産衛学会 （2013年版）	ACGIH （2014年版）
ポリ乳酸	未設定	未設定	未設定

設備対策

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
高熱取扱いで、工程で粉塵、ヒュームが発生するときは換気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

物質を加熱するときは、熱傷を防止する手袋を着用すること。
適切な手袋を着用すること。

眼の保護具

眼の保護具を着用すること。
保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用すること

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状态	固体
	形状	線状
	色	各種
臭い		わずかに甘い匂い
臭いのしきい（閾）値		データなし
pH		データなし
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
蒸発速度（酢酸ブチル=1）		データなし
燃焼性（固体、気体）		データなし
燃焼又は爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度（空気=1）		データなし
比重（密度）		データなし
溶解度		データなし

n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度（粘性率）	データなし

1 0. 安定性及び反応性

反応性	酸化剤と反応する。
化学的安定性	通常の条件においては安定である。
危険有害反応可能性	過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
避けるべき条件	熱、火花、裸火などの着火源。
混触危険物質	酸化剤、強塩基。
危険有害な分解生成物	燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素が発生する。

1 1. 有害性情報

急性毒性	経口	データがなく分類できない。
	経皮	データがなく分類できない。
	吸入（蒸気）	データがなく分類できない。
	吸入（粉じん）	データがなく分類できない。
皮膚腐食性及び刺激性		GHS:区分外に該当する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		GHS:区分 2B「眼刺激」に該当する。
呼吸器感作性		データがなく分類できない。
皮膚感作性		データがなく分類できない。
生殖細胞変異原性		データがなく分類できない。
発がん性		データがなく分類できない。
生殖毒性		データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）		データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）		データがなく分類できない。
吸引性呼吸器有害性		データがなく分類できない。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）		データがなく分類できない。
水生環境有害性（長期間）		データがなく分類できない。
オゾン層への有害性		モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物		廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受け産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処する。廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装		容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規則	Regulatory Information by Sea	Not dangerous goods
	Regulatory Information by Air	Not dangerous goods
国内規制	陸上規制	非該当
	海上規制情報	非危険物
	航空規制情報	非危険物
特別の安全対策		輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に 行う。 重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号		なし

1 5. 適用法令

適用される主たる法令はなし。

1 6. その他の情報

本データシートは下記 JIS 規格に準じて作成しています。

- ・ JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法
- ・ JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

参考文献

GHS 対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針

(日本化学工業協会)

GHS 分類結果データベース [(独) 製品評価技術基盤機構 (NITE)]

許容濃度の勧告 (日本産業衛生学会 2019 年度)

ACGIH(2019)

用途上の注意

本製品は熱溶解積層方式の 3D プリンターに使用されるものです。
他の目的で使用しないでください。

注意事項

本 SDS は、現時点で入手できた情報に基づいて作成されておりますが、
記載内容の保証を行うものではありません。
また、新たな情報を入手した場合や、法令の改正に伴い、予告なく追加・訂正される
場合があります。
ついては、製品の取扱いに関しては、使用者の判断・責任において
決定してください。